

2008年度 私立大学図書館協会東地区部会 館長会 会議録

1. 日 時：2008年6月13日(金) 12:10～13:30
2. 会 場：玉川大学 大学研究室棟B104会議室
3. テーマ：「大学の自己点検・評価と大学図書館の取り組み」
4. 司会：帝京大学メディアライブラリーセンター館長（東地区部会長校）坂井 達朗

5. 議 事

(1) はじめに

司会を務める坂井達朗帝京大学メディアライブラリーセンター館長（東地区部会長校）からテーマの趣旨説明と自己紹介あった。

(2) 意見交換

司会より第三者評価をすでに受けた大学の事例報告が求められた。

これを受け、S大学、K大学、T大学他数館から事例報告があった。

（館長会開始時の調査では半数以上の大学がすでに第三者評価を受けているようであった。）

- * 閲覧席についてほぼ10%を確保していたがさらに多くの閲覧席を確保するよう指摘された。
- * 閲覧席については新館計画があることを説明し、その中で解決していく事で理解を得た。
- * 開館時間について現状で十分か指摘を受けた。
- * 一般公開について実施していなかったが、実施していない理由について意見を求められた。
- * 一般公開については推進を強く求められた。
- * 一般公開について同一キャンパスに幼稚園、小学校など幼児、児童がいるため、安全面を優先して公開していない事を説明し、理解を得た。
- * 評価委員は評価機構の事務局より教えられた、各事項の評価ポイントに沿って質問しているようだ。
- * 閲覧席、開館時間、一般公開についてはどの大学でも必ず質問されているようだ。

今回、第三者評価を受けた時点と館長が交代しているため、現館長が指摘事項等の問題点をよく把握できていないケースが多く、現在の館長制度の問題点が顕在化する形となった。

以上